

# 令和7年度 明和小学校 学校運営協議会 実施報告

## 1 学校の概要

学校名	都城市立明和小学校		校長名	細山田 修	
学級数	23学級	児童生徒数	471名	職員数	39名
教育目標	自ら考え、正しく判断し、思いやりの心とたくましい体をもつ児童を育成する。				

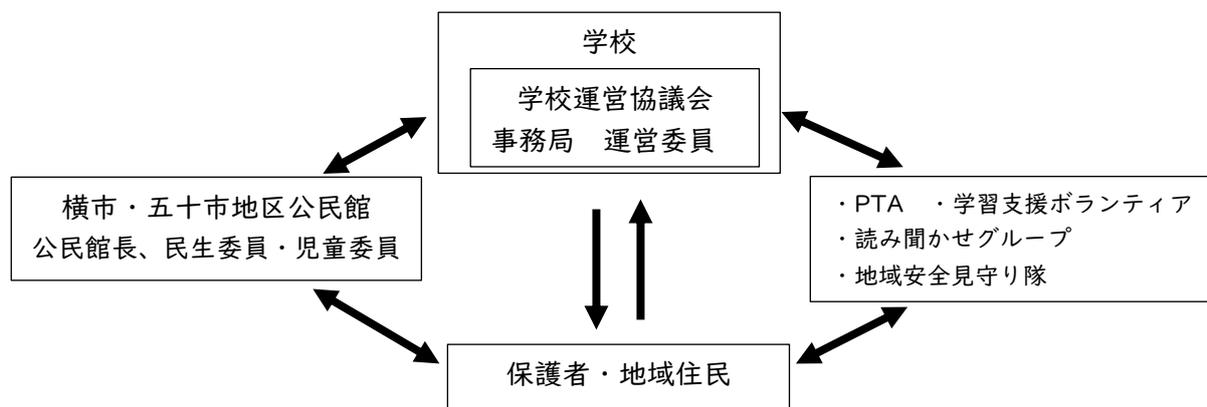
## 2 学校運営協議会に関わる組織

### (1) 委員（計8名）・事務局（計4名）

学 校 運 営 協 議 会 委 員	No.	所属名（役職）	氏 名	備 考
	1	元後蓑原公民館館長	寺田 正智	会 長
	2	元PTA会長	恒吉 和昭	副会長
	3	横浜市地区社会福祉協議会役員	本村 正和	
	4	西中学校区学校支援コーディネーター	坂元 三郎	
	5	上蓑原公民館館長	松原 光洋	
	6	読み聞かせグループメルヘン	柿並 貴子	
	7	久保原西公民館長	飯干 和洋	
	8	PTA会長	河口 哲治	

事 務 局	役 職	氏 名
	校 長	細山田 修
	教 頭	弓削 光孝
	主幹教諭	福重 正史
	事務主査	益田 健太郎

### (2) 組織編制



## 3 活動報告

月 日	主な活動及び内容
4月	学校運営協議会委員の人選
6月4日	第1回学校運営協議会（委嘱状交付、役員選出、学校経営説明等）
7月31日	横浜市地区合同学校運営協議会・第2回学校運営協議会（各学校の取組及び年間計画、中学校区における児童生徒のあいさつについての実態、課題と改善策の熟議、情報交換等）、学校運営協議会から横浜市地区まちづくり協議会、公民館長へあいさつ運動への協力依頼
9月	横浜市地区におけるあいさつの運動開始（毎月第1週）
10月9日	第3回学校運営協議会（横浜市あいさつ週間の取組について、明和ふれあい交流フェスタについて、学校評価アンケートについて、情報交換等）
12月19日	第4回学校運営協議会（明和ふれあい交流フェスタ反省、学校評価の説明、学校関係者評価等について）
2月19日	第5回学校運営協議会（次年度教育課程説明、学校評価、改善事項の協議）

#### 4 今年度実施した「熟議」のテーマ（小中合同学校運営協議会を含む）

7月：「西中学校区における児童生徒のあいさつの現状と今後の取組について」

#### 5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

##### (1) 学校支援活動

○ 横市地区合同学校運営協議会（7月）において各学校から児童生徒のあいさつについて現状報告してもらった。西小、西中合同あいさつ運動の実践や本校の「あいさつ名人カード」の実践例から西中ブロック（横市地区）の児童生徒のあいさつについての意識が高まっていることが確認できた。また、本年度横市地区PTA連絡協議会であいさつ運動に関連するのぼりを作成して3校に配付し、活用することも決定していた。そこで、横市地区合同学校運営協議会で毎月第1週を「横市地区あいさつ週間」と位置づけ、横市地区まちづくり協議会や、各公民館報であいさつについての広報をしていくことや地域全体であいさつ運動に取り組んでいくことを確認することができた。



【横市地区あいさつ週間～民生児童委員によるあいさつ運動～】

##### (2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

○ 「公民館加入者も減り、学校・家庭・地域とのつながり、特に地域と児童、保護者のつながりが希薄になりつつある。」という意見を受けて、11月の日曜参観日に親子で一緒にのこぎりやカッターナイフを使って作業するなどの授業を行った。また同日に学校、家庭、地域との交流活動「明和ふれあいフェスタ」を開催することもできた。



【11月参観日 児童と保護者の活動の様子】

##### (3) 地域貢献活動

○ 本校は、「西中学校区」と「五十市中学校区」の2つの中学校区にまたがっている。「五十市地区まちづくり協議会の行事にも積極的に参加してほしい」という意見もあり、毎年、五十市まちづくり協議会主催のイベント「イルミ&アートフェスタ」に6年生の共同製作物を出品した。

#### 6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 学校運営協議会委員の方々が学校支援ボランティアとして活動していただいたり、窓口となり活動を支えていただいたりした。
- 横市地区合同学校運営協議会で「横市地区あいさつ週間」を提案し、地区全体で取り組むことができた。
- 今後も、学校や児童が地域に貢献できる教育活動を実践し、地域と学校の双方向的な補完関係を築くことのできる活動の在り方を探る必要がある。
- 公民館や家庭を巻き込んだ地域での活動や魅力あるPTA活動の在り方を探る必要がある。

#### 7 次年度の方向性

- 教育課程内における地域人材の活用を今後も検討し、推進していく必要がある。
- 学校と地域が Win-Win の関係になれるような取組を模索する。